

本定例会に提案いたしておりました議案につきましては、慎重にご審議いただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

【追加議案について】

さて、本日、追加提案いたします議案は、決算認定6件でございます。それでは、提案理由の要旨について申し上げます。

議案第62号 から **議案第67号** に関しましては、平成27年度の一般会計及び特別会計に関する歳入歳出決算となります。

平成27年度におきましては、効率的で健全な財政運営に留意しながらも、「第五次鹿島市総合計画」の最終年度として、必要な事業に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、各会計別の決算状況は、国保会計が歳入不足となったものの、一般会計をはじめ、それ以外の各会計は昨年引き続き黒字決算となり、おおむね順調に各種事業を推進いたしました。

それでは、はじめに、**議案第62号** 平成27年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について申し上げます。なお、決算につきましては円単位であります。便宜上千円単位で申し上げます。

平成27年度の歳入につきましては、総額144億1,780万8千円となり、国庫支出金や市債、繰入金などの減により、対前年比4.3%の減となりました。

一方、歳出につきましては、総額138億4,333万3千円となり、人件費や投資的経費などの減により、対前年比6.0%の減となりました。

組織体制や各種事務事業の見直しなどにより、歳出面の削減効果は着実に表れており、繰り越すべき財源を差し引き、2億8,361万6千円の黒字

決算となりました。

基金の状況としましては、財源不足補填のため、一旦は、市の積立金である財政調整基金から1億5,100万円、公共施設建設基金から3億9,686万3千円の繰り入れをいたしました。年度末までに、それぞれ、1億5,449万4千円と1億5,990万9千円の積み立てを行い、今年度以降の財政運営に備えることといたしました。

次に、平成27年度一般会計決算における主な財政指標につきまして、説明をいたします。

財政構造の弾力性を判断する指標としての「経常収支比率」は、88.1%で前年度と比較して5.1ポイントの減となりました。

主な要因としましては、地方消費税交付金の大幅な増加や、普通交付税の増加により、主要一般財源が増加したことに加え、人件費や公債費などの経常経費が減少したことによるものでございます。経常収支比率は、税収と普通交付税の動向に大きく左右され先行きが不透明ではございますが、経常経費の徹底した見直しを行うことにより、今後も改善に努めてまいります。

公共下水道などの公営企業や一部事務組合の公債費も含めた「実質公債費比率」につきましては、8.0%となり、1.0ポイントの改善となりました。

さらには、市債現在高や上下水道などの公営企業や一部事務組合などの元利償還金に充てる一般会計からの繰入見込額、全職員の退職手当支給予定額など、一般会計が将来負担すべき実質的な負債の比率を示す「将来負担比率」は、68.9%となり、早期健全化基準の350%を大きく下回る良好な結果となりました。

今後とも、それぞれの指標の改善に向けて更なる努力を行ってまいります。

でございます。

また、これまでの、総合経済対策や都市基盤整備の財源とした市債残高は、今年度末には108億5,800万円程度となる見込みであり、償還費を普通交付税で全額措置されます臨時財政対策債を除けば、実質61億円の市債残高になる見込でございます。

さらに、市債残高全体に対する償還費の普通交付税による措置率は、平成27年度決算では74.4%となっており、市の自主財源で返済する金額は、実質的には28億円程度と見込んでおります。

鹿島市の行財政運営の主要な部分を占める一般会計においては、今後とも行財政改革や市税などの自主財源の確保に取り組み、財政基盤の強化に努めていくことが大きな課題であると認識いたしております。

次に、**議案第63号** から **議案第67号** までは、それぞれの特別会計の決算認定でございます。

これらにつきましては、各特別会計の設置目的に従いまして事業の推進を図ってきたところでございます。

まず、**議案第63号** 平成27年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

平成27年度の歳入の総額は、12億3,180万5千円、歳出の総額は、12億2,789万6千円で、差し引き390万9千円となり、平成28年度への繰越明許事業分の財源として使用することといたしております。

次に、**議案第64号** 平成27年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

平成27年度の歳入の総額は、281万8千円、歳出の総額は、23万3千円で、差し引き258万5千円の黒字決算となっております。

次に、**議案第65号** 平成27年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

平成27年度の歳入の総額は、45億4,995万6千円、歳出の総額は、47億5,746万4千円で、差し引き2億750万8千円の不足が生じたため、平成28年度会計からの繰上充用金により補填したところでございます。

次に、**議案第66号** 平成27年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

平成27年度の歳入の総額は、3億7,921万6千円、歳出の総額は、3億7,831万円で、差し引き90万6千円となり、平成28年度会計へ繰り越したところでございます。

最後に、**議案第67号** 平成27年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

この会計は、職員給与支給事務の簡素化を図ることを目的とした会計でございまして、水道事業を除く一般会計及び特別会計のそれぞれの給与費決算額と重複した決算となっております。

以上、追加提案いたしました議案の説明を終わりますが、本市は、めまぐるしく変化する社会情勢の中、「行財政改革プラン」を着実に実行し、収支のバランス、ハード事業とソフト事業のバランスをとりながら、「第六次鹿島市総合計画」に基づく主要施策の展開のため、必要な財源確保に努めてまいっている所存でございます。

なお、各会計の決算の詳細につきましては、『歳入歳出決算書』及び『主要施策の成果説明書』を参照していただくとともに、ご審議の際は、担当部

長又は課長が説明いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。